

## 第 169 回 東葛しぜん観察会

### 稲わらで楽しく作るお正月飾り

遠藤鏡子（柏市）

日 時：2021 年 12 月 19 日（日）10 時～12 時 30 分

場 所：21 世紀の森と広場 多目的室（松戸市）

参加者：13 名（内 子ども 1 名）

担当指導員：草野・三嶋・三角・遠藤鏡、講師：日野原

年末と言えば「稲わらで作るお正月飾り」というくらい毎年の恒例になっているお正月飾り作りのイベントを今年も 21 世紀の森と広場で行いました。

昨年に引き続き、新型コロナについては、いまだ終息の兆しが見えない中での開催となり、なるべく多くの方々に日本の伝統と暮らしに息づく自然とのつながりを感じていただきたいと思っていたのですが、今年も参加人数を絞らなければならないのはとても心苦しく思いました。

制作に入る前に、まずお正月と言えば思い出す代表的な植物：マンリョウ・センリョウ・ヤブコウジ・ナンテン・ユズリハ・ダイダイや鏡餅には欠かせないシダ類のウラジロなどを紹介しました。何人の方は興味深々に覗き込み写真も撮られるなどしてなかなか好評のようでした。毎年この会では一本の縄を緬い、輪にするしめ縄を製作しますが、お正月のしめ飾りには他にも地方によっていろいろなバリエーションがあることをイラストを交えてご紹介しました。飾る時期についても説明しましたが、一般的に 28 日くらいから飾るとよいとされています。ただし 29 日は二重苦というイメージから避けたほうが良いとされています。

一通りお正月飾りにちなんだことについて説明したあと、しめ飾りの製作にとりかかっていただきました。例年しめ縄を先に製作する班としめ縄に飾りつけるお飾りを先に製作する班で分かれていたのですが、今年は人数が少ないこともあり分散させずに全員同じ順番で取り掛かっていただくことになりました。藁緬いについては、もともと一人で出来る人はまれで、毎年指導員が手分けしてお手伝いすることになるのですが、今年はみんなで同じ工程をやっていたいたため、お手伝いに集中することができました。結果的に今年は作れずに取り残される人も出ず、みんな一緒に仕上げられたことがよかったですと思います。

最後にはみなさん満面の笑みを浮かべられ、ご自分で作り上げたお正月飾りに満足そうでした。



参加者は例年の半数以下で広々と作業でした

よいお正月を迎える様素適なお飾りができました